『給食番長：北海道十勝弁版』好学社

作・絵：よしながこうたく／翻訳：上士幌町図書館

【01】
キーン　コ～ン　カーン　コ～ン
わんぱく小学校の　給食の時間が　はじまったぞ。

【02】
どかん！　ばしゃん！
「なまらうまいシチューは、どれっオラによこせー！」
「きゃあ、番長、やめれって」

【03】
「よっしゃ、おまえら　嫌いなもんなんかよっこしちまって、とっとと遊びにいくべ！！せいじ、はやぁくせっ！まさお、はんかくさいことしてるとおいてくど！」
「うわーい。待ってって　言ってるべや番長さ～ん。まさお、急ぐべ！」
「えぇいっ！野菜嫌いだから、オラも残すべか」「オラもっ」「じゃっ、わしも～」
１年２組の給食は　いつも　わや。
入学以来　まだ一度も　給食を　までに食べてないべさ。

【04】
みんなが　お昼休みで遊びに行ったっけ、
給食室では　おばちゃんらが　肩をよせて泣いてた。
「うっうっ、１年２組は　またなまら残してるっしょ…。」
「もう、これで　３か月ずっとだ」

「番長って　呼ばれてるだはんこきが　みんなを
そそのかしてるんだど、きっと。」
「その子を　なんとかしないと　どもこもならんっしょ。」

【05】
つぎの日の給食の時間、ついに怒った　給食のおばちゃんらは１年２組の教室に　のりこんださ。
「こらぁっ！おまえが　だはんこきの番長だな！ちゃんとおっちゃんこして食え！！」
「へっへへ〜ん。やーだよ。オラ　牛乳もパンもな大きれっだもの。」
番長は、おだってばかりで　全然言うことを聞かねぇ。
「待で！！残したら　もったいないべや！」
「こったら給食なんか　全部食えるわけないべや〜」

【06】
１年２組は、その日も　がっぽり給食を残しちまった。
「へっへへ。かたづけも終わったし、遊びにいくかな」
もう、なにをしゃべったって　だめなんだべか…」
給食のおばちゃんらの目から　おおつぶの涙ががっつりあふれてきたさ。
したっけ、そのつぎの日…。

【07】
キーン　コ〜ン　カーン　コ〜ン
いつものように　給食の時間が　やってきたっしょ。
したっけ　給食室のまえで　みんなが　なまら騒いでるさ。
「なした！？　せいじ、なんとかなったんだべか？」
「なんもかんもない、番長さん、あれみてみれ！給食のおばちゃんらが
家出しちゃったど…」
給食のおばちゃんらがいないと　みんなのお昼は　ぬきになってしまうべさ。
「あ〜〜〜ん」「びぇぇぇえ〜〜〜〜〜ん」
「番長が、“嫌いなもんなんか　残せって”くっちゃべるから、
おばちゃんら、なまら怒っちゃったべや！」
「番長、どうするのさ！」「あやまればいいっしょや、番長！」
「なんとかなんねえのか、番長！」「番長！」「番長！！」

【08】
みんなが　なまら怒りだしたっしょ。そしたっけ番長は　自信満々だったべさ。
「ふっふん。なんともねえ　まかせておけばいいべや！
そったら給食くらい、おれらでつくればいいべや。
やっと行くど、まさお！」
「はっちゃきこくべ〜」
「せいじ！」
「おれにまかせてけれ、番長さん！」
「たかふみ！」

「おっけぃ、番長！」
「おばちゃんらより　なまらうまい給食つくってやるべや。ふっふふふ」

【09】
「せいじ！今日の献立は、何よ！？」
「え、え〜っと。ビーフカレーとひじきのサラダっしょ！」
「ほれ、まさお。にくもってこい！！」
「やいや　なまらおもいべさ　番長！」
「ほ　せいじ！　魚でダシをとるど！」
「たいしたもんだな番長さん、あったまいいな！」
「たかふみ！　かくし味は　アップルだべ！」
「いいんでないかい、番長！」
「うぉぉぉぉ！！！」
トントントントントントントン！！！
番長は　なまらすさまじい勢いで　はっちゃきこいで
材料を切っていった。

【10】
「どぅりぁああ〜〜！！
６１２人分なんて　大したもんでねぇ、朝飯まえだ！
じゃんじゃん、じゃんじゃん　具を入れるべ〜！
かまして　かまして　なまらかまかせ〜〜！！」
「番長！　なまらかっこいー！」

【11】
ついに　番長らの給食が　できあがりました。
みんなは　とびあがって　なまらよろこんださ。
「おっ！　みんな　食うど」
「わーい。番長びゅーだな！なまらうまそう！！」

【12】
ガッタン　ガタン
あれ？　あれあれ？　みんなが　席をたちはじめたっしょ。
「なした！？なした！？　おっみんな　なした！？」
番長は、びっくらこいているとき。
「うわっまずい、なまらうまくねっ」
「こったら給食なんて　ぜんぶ食えねえよ」
「あ〜〜〜ん」「びぇぇえ〜〜〜〜〜ん」
「食えねえってかい？オラたち、おめえだちのために　はっちゃきこいで
つくったんだぞ…」

【13】
下校時間をすぎて、あたりは　すっかり暗くなってきたべさ。

「こったらはずじゃなかたんだわ……
オラの好きなもん　がっつり入れたのによ……」
「番長さんの包丁さばきは　なもかもねえくらい　ベリーグッド。」
「だけど　食ってもらえなかったら　なんもならんべさ…」
「して　番長、明日もやるんだべか？」
「あしたかぁ…」
「おばちゃんら…帰ってこねえかな…」

【14】
日が暮れて　おおなべ、食器をゴシゴシゴシゴシ。
したっけ、番長らは　いまにも泣き出しそうさ。
そんとき…ガチャリ
「ははは　やっと　わかったんでないかい？」
「あっ　その声は！？」
「おばちゃん！」

【15】
「おばちゃんらさ　あんたがたに給食　残されるとさ　悲しいさ。
おいしく食ってもらえるように　まいにち　はっちゃきこいて
給食をつくってるんだよ。」
「それによ、給食に入ってるのは、元気におがるのに必要な
食べものばかりなんだよ。」
したから　みんなが残すと　おばちゃんらは　心配なのよ…」

【16】
「そうだったのかい！」
「おばちゃん　いままでわるかったね。ホントにごめん。」
「なんも。なんもだよ。」
「明日からさ　なまら食って　おがったらいいっしょ。」
「おら早くおがって、おばちゃんのおムコさんになる！」
「あらあら、番長ったら。うふふふふ」
「ぅわぁっはははははは」
夜の給食室に　笑い声がこだました。

【17】
つぎの日。
１年２組の机のうえには、なまらきれいにならんだ　うまそうな
給食がいっぱい！ちゃんと　おっちゃんこして　給食番長の合図にあわせて、
お手手をあわせて、みんないっしょに
いっただきまーす！